

羊ヶ丘養護園安全委員会だより

羊ヶ丘養護園 Vol.17 平成 28 年 9 月 16 日 作成者 有田・永浦

平成 28 年 9 月 6 日に第 31 回安全委員会が開催されました

今回の定例会議では、6 月から 8 月までに起きた 9 件のケースについての報告をしました。

身体的暴力が 7 件(内、性的暴力が 1 件、嫌がらせが 1 件)、暴言が 2 件でした。その中で、小学校低学年ユニットでプライベートゾーンに関する暴力があったことについては、年下児童が年長児童に対して行ったものであり、山岸委員長より、「被害児童は年下の加害児童に対し抵抗することが出来なかったのか」という質問がされた。

このケースについては、暴力が起きた際に直ぐに対応し解決をしたが、その重篤度が高かったことから、内部会議の際に園長先生より再度調査を行うように指示があり、園長先生の助言を受けながら安全委員会内部委員が中心となり再調査したことを含め報告し、加害児童から被害児童への謝罪と被害児童に対しても正しい回避の方法について指導を行った経過について報告を行った結果、外部委員の先生方より、低年齢の児童であってもプライベートゾーンについての正しい理解をさせていくことが重要であり、再調査をして再度指導したことはとても良かったと評価されました。本ケースは、性的暴力であることからもっと慎重に取り扱うこと、被害児童の回避の方法に対する指導が足りなかったことが職員の振り返りで反省点として上げられた。

また、羊丘小学校の校長先生より子どもたちの暴言について、子どもたちが日常の中で使っている言葉の中でも、暴言や人を傷付ける言葉が、深い意味もなく使われていることがあり、「それは絶対に使ってはいけない言葉」という線引きを大人が示していくことが大切だという助言を頂きました。

お知らせ

*次回の定例安全委員会の開催日は 11 月 8 日(月)を予定しています。

*全国児童福祉安全委員会連絡協議会 第 8 回全国大会が、11 月 29 日(火)～11 月 30 日(水)の 2 日間、千葉県で開催されます。今年の大会テーマは、「安全委員会方式 学び合い 支え合い 次の一歩へ」です。「羊ヶ丘養護園からは、三浦園長、大畑副園長、有田児童指導員、細野児童指導員、藤井心理療法担当職員が出席し、「羊ヶ丘養護園の取り組みについて」大畑先生が発表することになりました。全国の児童養護施設の安全委員会の取り組みについて、勉強をしてきます。

～安全委員会に参加した委員の感想～

今回の安全委員会の中で、どんなに腹が立っても言っていけない言葉という事についての話があり、羊ヶ丘養護園でも以前に「自分が言われたら嫌な言葉、傷つく言葉」について子どもたちと一緒に考え、取り組んだことを思い返しました。生活の中で子ども同士のトラブルが起きた時も、その都度「どんなことを言われたら嫌か」という事をお互いにきちんと伝えられるように話し合いをしてきましたが、目に見える形にして取り組むことも大切なかもしれないと、今回改めて思いました。

児童指導員 有田 京太郎

初めて安全委員会に陪席させて頂きました。新任職員の私にとっては、委員の方々からのご意見を聞かせて頂き、たくさんのお話を学ぶことができた場でした。子どもたちの暴力や不適切な発言をその都度指導しても改善されず、考え込むことも多くありましたが「繰り返し指導する」ことが重要であると教えて頂き、私たち職員がすべきことや、その意味を改めて考えさせられ、また安全委員会の大切さを感じました。子どもたちの今後の為にも、暴言、暴力に対してしっかり指導をしていきたいと思っております。

児童指導員 永浦 結香